



パソコン同好会

放送大学山口学習センターサークル

機関誌 No. 60

Nov. 24, '13.

文責 井手明雄

1、第六十七回パソコン同好会

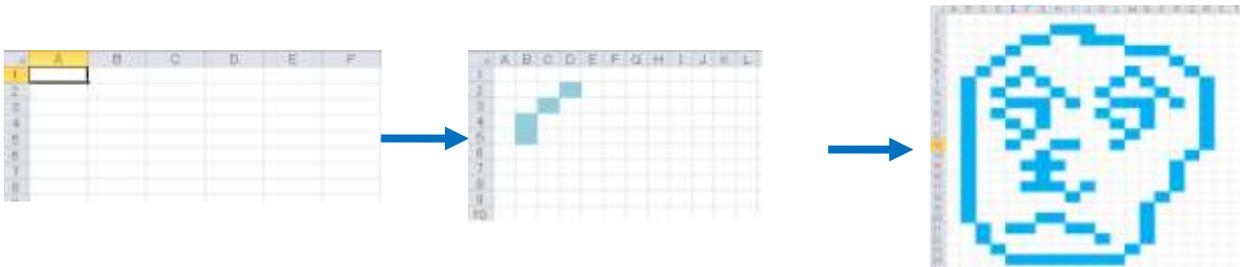
- (1) 開催日： 10月26日(土) 13:30~15:00
- (2) 場所： 放送大学山口学習センター小講義室(山口大学・大学会館内)
- (3) 内容： ① EXCELで身近な関数の利用を練習した。関数として、COUNTIF関数、SUMIF関数、IF関数、などを練習した。
② 「VLOOKUPの利用方法」や「ピボットテーブルの使い方」も復讐した。
③ その他

2、Q & A

Q エクセルで任意のセルを複数選択するには？

A [CTRL] キーを押したまま、マウスで希望のセルをクリックします。

例として、選択したセルに色を付けて絵を描写しましょう。



手順

- ① 列番号バーや行番号バーをアクティブにし、セル間隔を正方形の方眼紙タイプにする。
- ② [CTRL] キーを押したまま、マウスで希望のセルをクリックします。
- ③ ホームタブの「フォント」グループの「塗りつぶしの色」をクリックして着色する色を決めます。

3、第六十八回パソコン同好会

- (1) 開催日： 11月24日(日) 13:30~15:30
- (2) 場所： 放送大学山口学習センター小講義室(山口大学・大学会館内)
- (3) 内容： ① IF関数理解
② 複数の関数を使用した便利な処理方法
③ その他

エクセル演習 3 IF関数、関数の複合

10月の例会で取り残しの事項であるIF関数を取り上げます。さらに、エクセルの操作

を巧みに行う方法として、関数の中に関数を使用することを取り上げてみます。

1, IF 関数

書式： 「=IF(条件式、その条件が真の時にすること、その条件が偽の時にすること)」

この関数の引数は、3個必要です。最初は「条件」、次は「その条件に適合したときに行うこと」最後は「条件に適合しないときにすること」です。3番目の引数は省略できます。

分かり易く言いますと、3つの引数をA、B、Cとしますと、書式は「=IF(A,B,C)」となり、「もし、Aなら、Bを、AでないならCをなささい」となります。

例1:

	A	B	C	D
1	名前	アベノミクス賛成	TPP賛成	基地撤去賛成
2	山田	○	×	×
3	佐々木	○	○	×
4	木下	○	○	○
5	井手	×	×	○
6				
7				
8				
9	名前	アベノミクス	TPP	基地撤去
10	山田	賛成	反対	反対
11	佐々木	賛成	賛成	反対
12	木下	賛成	賛成	賛成
13	井手	反対	反対	賛成
14				

表 1

表1で、セルの記述が○なら「賛成」、「×」なら「反対」としてみましょう。

方法:

表1のセルA1からセルD5までをコピーし、セルA9に貼り付けて表1の下のようにし、次に○、×をすべて消去します。

次に、セルB10に「=IF(B2="○","賛成","IF(B2="×","反対","")))」と

します。或いは、「=IF(B2="○","賛成","反対","")）」とします。

セルB10のフィルハンドルをD10、D13までドラッグします。

例2 問題 D列の評価の欄に、得点が60以下なら「不可」、60~69なら「可」、70

△	A	B	C	D	E
1		成績表			
2		氏名	得点	評価	
3		井手	55	不可	
4		加藤	68	可	
5		佐々木	73	良	
6		吉田	70	良	
7		安倍	87	優	
8		田中	90	秀	
9					

表 2

~79なら「良」、80~89なら「優」、90以上なら「秀」と書き込む。

答え

セルD3に「=IF(C3<60,"不可",IF(C3<70,"可",IF(C3<80,"良",IF(C3<90,"優","秀"))))）」とし、D3のフィルハンドルをD8までドラッグします。この他色々な処理の仕方があるので、考えてみましょう。

2, 関数の複合

表2ではIF関数を重ねましたが、セルD3に、

「=LOOKUP(C3,{50,60,70,80,90},{「不可","可","良","優","秀"})）」としても処理できます。

LOOKUP 関数

書式： =LOOKUP (検査するもの、検査する範囲、対応する範囲 (省略可))

例: 表2でD3に、「=LOOKUP(C3,{50,60,70,80,90},{「不可","可","良","優","秀"})）」とし

ます。検査する範囲の項が記載された数値にぴたっと合っていないくても、小さい値を適応させます。C列で50を検索し、次の最小値(55)を一致する値として見つけて、C列の同じ行にある値を返します。

SUMPRODUCT 関数

書式： =SUMPRODUCT (配列1、配列2、・・・)

幾つかの配列の対応する要素どうしを掛け算し、それらの和を求めます。

例1：表3 A列、B列、C列にこのようデータがある時、セルA6に、

「=SUMPRODUCT(A1:A2,B2:B3,C3:C4)」

とすると、「A1*B2*C3+A2*B3*C4」の答えとして「14」が返って来ます。

	A	B	C	D
1	1			
2	2	1		
3		2	2	
4			3	
5				
6	14			

表 3

例2：TPP問題で関税が撤廃されたときどうなるかという表が、表4ですが、このように、1つの項目にデータが2種類入っているとき(同一の項目が2つのセルに記載されている場合)の計算の仕方はどうなるでしょう。

	A	B	C	D
1				
2	関税撤廃の影響			
3	国産品名	関税率(%)	生産者数(万戸)	生産額(億円) (減少額、約億円)
4				
5	米	7.78	144.5	20645 (-11100)
6				
7	豚肉	1.36	0.7	6000 (-4600)
8				
9	牛肉	0.39	7.4	6200 (-3600)
10				
11	牛乳・乳製品	218~368	2.2	6500~6600 (-2900)
12				
13	水産物	3.5~28	20.3	20300 (-2490)
14				
15	砂糖	3.28	4	1500 (-1500)
16				
17	鶏卵	8~21.3	0.28	4800 (-1100)
18				
19	鶏肉	8.5~11.9	0.23	4400 (-990)
20				
21	小麦	2.52	8.6	800 (-770)
22				
23				

表 4

E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
		関税撤廃の影響								
	国産品名	関税率(%)	生産者数(万戸)	生産額(億円) (減少額、約億円)	生産額(億円) (減少額、約億円)					
1	米	7.78	144.5	20645	20645		1			
2				-11100	-11100		0			
1	豚肉	1.36	0.7	6000	6000		1			
2				-4600	-4600		0			
1	牛肉	0.39	7.4	6200	6200		1			
2				-3600	-3600		0			
1	牛乳・乳製品	218~368	2.2	6500	6600		1			
2				-2900	-2900		0			
1	水産物	3.5~28	20.3	20300	20300		1			
2				-2490	-2490		0			
1	砂糖	3.28	4	1500	1500		1			
2				-1500	-1500		0			
1	鶏卵	8~21.3	0.28	4800	4800		1			
2				-1100	-1100		0			
1	鶏肉	8.5~11.9	0.23	4400	4400		1			
2				-990	-990		0			
1	小麦	2.52	8.6	800	800		1			
2				-770	-770		0			
				71145	71145		71245			
				-29050	-29050		-29050			

SUMPRODUCT 関数を用いた

F列に手入力、例えば1と2を入れて、sumifで集計した場合。

sum関数で、ctrlキーを押しながら範囲を指定した場合。

L列にROW関数で奇数行と偶数行にそれぞれ1と0を入力しておいて、sumifで集計した場合

F列とL列に仮補助の数値欄を作っておいて、計算したものです

① SUMPRODUCT 関数を用いた場合、

「=SUMPRODUCT((MOD(ROW(J\$7:J\$24),2)=1)*J\$7:J\$24)」

「=SUMPRODUCT((MOD(ROW(J\$7:J\$24),2)=0)*J\$7:J\$24)」

② L列に ROW 関数で奇数行と偶数行にそれぞれ1と0を入力しておいて、SUMIF 関数で集計した場合、

「=SUMIF(\$L\$7:\$L\$24,1,\$J\$7:\$J\$24)」、 「=SUMIF(\$L\$7:\$L\$24,0,\$J\$7:\$J\$24)」

③F列に手入力例えば1, 2と入力し、SUMIF関数で計算する場合

「=SUMIF(\$F\$7:\$F\$24,1,\$J\$7:\$J\$24)」「=SUMIF(\$F\$7:\$F\$24,2,\$J\$7:\$J\$24)」

例3: 各項目のデータを一つのセルに収めてある場合のデータの集計をする。
文字列を探索しておいてそれを数字に変換します。

	A	B	C	D	E
1					
2		関税撤廃の影響			
3		国産品名	関税率(%)	生産者数(万戸)	生産額(億円) (減少額、約億円)
4		米	7.78	144.50	20645(-11100)
5		豚肉	1.36	0.70	6000(-4600)
6		牛肉	0.39	7.40	6200(-3600)
7		牛乳・乳製品	218~368	2.20	6500~6600(-2900)
8		水産物	3.5~28	20.30	20300(-2490)
9		砂糖	3.28	4.00	1500(-1500)
10		鶏卵	8~21.3	0.28	4800(-1100)
11		鶏肉	8.5~11.9	0.23	4400(-990)
12		小麦	2.52	8.60	800(-770)
13					

セル G4 に
「=VALUE(LEFT(E4,
FIND("(",E4)-1)))」
セル H4 に、
「=VALUE(LEFT(E4,
FIND("(",E4)-1)))」
セル I4 に、
「=MID(E4,FIND("(",
E4)+1,FIND(")",E4)-
FIND("(",E4)-1)」とし、

セル J4 に、「=VALUE(I4)」とし、フィルハンドルを12行までドラッグします。13行に集計をSUM関数を使います。

	G	H	I	J
1				
2	結果			
3	生産額(億円) 下限	生産額(億円) 上限	(減少額、 約億円)	(減少額、 約億円)
4	20645	20645	-11100	-11100
5	6000	6000	-4600	-4600
6	6200	6200	-3600	-3600
7	6500	6600	-2900	-2900
8	20300	20300	-2490	-2490
9	1500	1500	-1500	-1500
10	4800	4800	-1100	-1100
11	4400	4400	-990	-990
12	800	800	-770	-770
13	71145	71245		-29050

VALUE 関数

書式 「=VALUE(文字列)」

意味 文字列を数値に変える。

MID 関数

書式 「=MID(文字列、開始位置、数)」

意味 文字列を開始位置から指定した数だけ取り出します。

LEFT 関数

書式 「=LEFT(文字列、数)」

意味 文字列を左から指定した数だけ取り出します。

RIGHT 関数 書式 「=RIGHT(文字列、

数)」

意味 文字列を右から指定した数だけ取り出します。

FIND 関数

書式 「=FIND(検索文字列、対象、開始位置)」 意味： 対象の中から文字列を検索し最初に現れる位置を検索します。